第7号　2017年11月

在宅医紹介制度
登録医療機関向け

懸け橋

船橋市在宅医療支援拠点ニュースレター

船橋の高齢化に思う

船橋市医師会　在宅医療支援拠点副担当理事　髙木　康博

常々船橋の在宅医療の充実にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーとも着実に実績を伸ばし、認知度も上がってきて相談件数も増えています。市外からの相談もあり、その範囲も広がってきているようです。

船橋は電車の便がとてもよく、都内の大病院へ通うのも簡単です。所によっては、市内の病院に通うより短時間で通えることもあり、市外の病院を利用している方も多くいると予想されます。高度専門治療を受けていた方が通院困難となった場合に地元で継続治療を受けたいと思うのは当然の流れで、今後団塊の世代の退職に合わせて東京などから少しずつ患者さんが戻ってくることでしょう。その中で在宅医療を希望される方も増えていくと思われます。しかし、一口に戻るといっても、どこの病院に通うか直ぐには決まらないものです。ましてや在宅となると東京の主治医にお願いしても中々見つけるのは困難だろうと思います。結局、まず近所の病院へ転院して探すこととなるか、知り合いの先生にお願いするといった方法がとられ、不安のまま船橋へ帰ってくる方が多いのではないでしょうか。ふなぽーとが船橋の在宅医療の水先案内人として機能すること(単なる紹介所ではないです)で不安が軽減され、スムーズに地元船橋での治療へ移行できるようになってきており、その実績が着実に相談件数の増加に現れていると感じます。ふなぽーとに期待される役割は大きいです。担当一同、関係各所との連携を深め、対応の幅を広げられるよう鋭意努力してまいりますので、今後ともご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

さて、在宅医療の更なるレベルアップのために始まった在宅医ネット研修会の第2回が催されました。今回は「在宅での栄養支援」をテーマに開催され、第1回と同様に多くの方にご出席いただきました。

講師の小野沢先生が始めに示された船橋の高齢化推移の予想に、改めて現実を突きつけられました。団塊の世代が後期高齢者に入る2025年は、実はまだ序の口で、団塊ジュニアが高齢化を迎える2060年が多死社会のピークになるそうです。また、その頃には働く世代の人口は激減しており、街は衰退し、医療介護の担い手、特にホームヘルパーが今以上に圧倒的に不足する現実が待っているとのことでした。2060年は今から約40年後、私が生きていれば80代後半です。

まさに我々の世代は少子高齢化社会の真っただ中を生きていかなくてはならないのです。我々が勉強し、他者と連携しながら作っていく体制は、現在の患者さんだけではなく、自分の老後や子ども達の未来へと繋がっています。これからの未来を見据えた地域医療体制を、様々な方向から検討し、医療介護に携わる皆で協力して作っていく必要性を改めて感じました。

今後も研修会・懇親会を順次開催いたしますので、是非多くの方々にご参加いただき、ご意見をお聞かせいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

在宅医療支援拠点ふなぽーと　総括者だより

金子　由美

ふなぽーとが開設して、2年が経ちました。これからも市民の方からの相談窓口として、また、在宅医療について興味を持っていただけるよう、周知活動を行ったり、専門職の連携支援が行えるよう、地道に活動していきます。

第2回船橋在宅医ネット研修会

10月5日（木）に、第2回船橋在宅医ネット研修会を開催しました。

講師に小野沢　滋先生（みその生活支援クリニック院長、亀田メディカルセンター特別顧問、前北里大学トータルサポートセンター長）をお招きして、演題「高齢者の低栄養に私たちができること～栄養支援の基礎～」について、ご講演いただきました。

研修会には、医師、看護師、歯科医師、薬剤師等の専門職の方々を中心として、57名の方々にご参加いただきました。

船橋市の人口推移等の統計的な視点を踏まえ、栄養支援の最終目標や問題点、改善可能な原因を見逃さないために必要なこと等、在宅での栄養支援に関することについて、事例を交えながらお話しいただきました。

「在宅医療のはなし」

10月4日（水）に、地区社会福祉協議会、民生委員、自治会、地区ボランティアの方々に、「在宅医療のはなし」をさせていただきました。

地区でも、在宅医療やこれからの医療・介護体制に関心が強い人が多く、独自に勉強会を行っているそうです。今回は『在宅医療ボランティア育成講座勉強会』の一環として呼んでいただきました。

皆さん、関心が強く、ペンとノートを持って熱心に聞いてくださり、こちらも「真剣にお伝えしなければ」と、身の引き締まる思いでした。

1時間の講話が終わってからも、お別れしがたく、みんなで和気あいあいとお話をしました。その中で地区社会福祉協議会長が「出席する方はいつも大体同じメンバーで、このような場に出てこない人をどのように引っ張り出すかが課題です」とお話されました。

私たちもこまめに出かけていって、少しでも多くの人に、いつまでも自分らしく暮らすための選択肢のひとつとして、在宅医療があるということを伝えていきたいです。

ツクイ新船橋開設式

9月19日（火）に行われたツクイ新船橋の開設式において、松本相談員が来賓代表の挨拶をさせていただきました。

一般社団法人船橋市医師会受託事業
船橋市在宅医療支援拠点
ふなぽーと

〒273-8506　船橋市北本町1-16-55
船橋市保健福祉センター1階
電話：047-409-1736
FAX：047-409-1912
Mail：info@funabashi-zaitaku.com
ブログ：http://ameblo.jp/funa-zaitaku-iryo
運営時間　平日午前9時 ～ 午後5時
（土日祝休）

★お気軽にお問い合わせください。